



学会・研究会・講演会
などのお知らせ

平成 30 年度 全国保健師交流集会 プログラム

日時：6月13日(水)9:30~16:00

会場：パシフィコ横浜(横浜市区)

プログラム：平成29年度保健師職能委員会活動報告(保健師のキャリア形成に関する取り組み、地域包括ケアシステムの構築・推進に関する取り組み、保健師のネットワーク及び組織強化に関する取り組み)／平成30年度重点政策・重点事業(保健師関連)、保健師職能委員会活動方針／特別講演「母」でなく「父」ではなくて「親」になる—それを支える保健活動」鷺山拓男(とよたまここの診療所長)／シンポジウム(座長：中板育美〔日本看護協会保健師職能委員長〕)「親になるほど難しいことはない」椎名篤子(児童虐待防止全国ネットワーク副理事長)、「地域まるごとで支えるこどもの未来—『こども食堂』の活動が教えてくれたこと」胡内敦司(千葉県松戸市総合政策部兼子ども部兼教育委員会学校教育部審議監)、「すべての“親子”を支える縦と横をつむぐ地域活動」藤原美輪(兵庫県稲美町健康福祉部健康福祉課健康推進総括係長子育て世代包括支援担当)

参加費：会員無料、非会員1000円(当日受付可)

問い合わせ：日本看護協会健康政策部保健師課

☎ 03-3778-8844

✉ hokenshi@nurse.or.jp

URL <http://www.nurse.or.jp/>

第 33 回 日本保健医療行動科学会 学術大会

テーマ：健康でつながる調和的なライフに向けて—行動変容へのホリスティック・アプローチ

日時：6月22日(金)~24日(日)(22日はエクスカージョンのみ開催)

会場：沖縄県男女共同参画センター「ていりる」(沖縄県那覇市)

内容(公開プログラム)：基調講演「ナラティブと行動変容のからくりを脳科学から探る—科学の限界を見すえて」吉岡隆之／沖縄慰霊の日「慰霊と平和の祈り」／シンポジウムⅠ「語る・聴く・書く」／シンポジウムⅡ「健康でつながる調和的なライフに向けて」／特別講演「何が人を変えるのか—ホリスティックコミュニケーションの実際」黒丸尊治(彦根市立病院)

対象：沖縄県在住の保健・医療・福祉関係者(大学、専門学校等の学生を含む)

参加費：1000円

申し込み方法：下記URL【公開プログラム】専用登録フォームから

申し込み期限：5月31日(木)

※当日参加可(ただし、資料等を準備できない場合もあり)

問い合わせ：奈良学園大学内 大会実行委員会事務局 吉岡隆之
〒631-8524 奈良県奈良市中登美ヶ丘3-15-1

✉ 33jahbs@gmail.com

URL <http://www.jahbs.info/>

2018 年度 歯と口の健康週間関連企画 日本歯磨工業会 第 18 回標語募集

募集テーマ：歯の大切さ、口の健康の大切さを言葉にしてみませんか

応募期限：6月30日(土)

応募方法：web(<http://www.hamigaki.gr.jp/hamigaki2/campaign/hyogo.shtml>)から

応募ルール：必須入力項目を明記し、アンケートに回答の上、応募。作品は40文字以内。応募は1人1回、2作品まで。応募標語は未発表のものに限る。入選作品の著作権は、以後日本歯磨工業会に属する。

入選および賞品：最優秀賞1作品(賞金10万円)、優秀賞3作品(賞金3万円)、ユニーク賞1作品(賞金3万円)、ファミリー賞1作品(賞金3万円)、佳作20作品(会員各社商品のオーラルケア詰合せセット5000円相当)

発表：10月(予定)

問い合わせ：日本歯磨工業会

〒103-0001 東京都中央区日本橋小伝馬町2-4三報ビル7階

☎ 03-3249-2511

FAX 03-3249-2513

URL <http://www.hamigaki.gr.jp/>

地域社会振興財団 平成 30 年度中央研修会

第 37 回健康学習研修会
—行動変容、意識変容の基本とな
るコミュニケーション技法の習得

研修期間：7月5日(木)~6日(金)

テーマ：元気・やる気生まれるコミュニケーション法とは

ねらい：「健康学習」の主体は住民。専門職が教える健康づくりでなく、住民が学ぶ健康。健康診断のデータを入口に住民の健康生活にどう結びつけていくか。保健医療従事者の関わりが意識を動かし、住民が自ら行動を興し、自分らしい健康につながっていくサポートが求められる。知識伝達、健康体験は健康行動のきっかけになる。健康問題を自分事として考え、継続的な健康行動に繋げるコミュニケーション法が健康学習の基本である。人のやる気を引き出す個対個のコミュニケーション法、集団を元気にする教室の運営法、住民が主体的に健康事業に参加し、住民と専門職が一体になった事業の展開法をつかむ。保健医療従事者に求められる健康学習の実践的技

法・発想が分かる2日間となる。

内容：住民が元気になるコミュニケーション—伝え上手、尋ね上手、返し上手／住民の視点に立ったメタボリック症候群対策—継続的行動変容につながるコミュニケーション／集団対象の健康学習の基本／他

対象者：保健師、栄養士、医師

定員：30名

受講料：1万8000円

申し込み期限：6月5日(火)

第18回健康企画・評価研修会 —住民の心身トータルの健康を 目指した事業の企画法

研修期間：7月26日(木)～27日(金)

テーマ：これからの時代、保健事業に大切な企画力・評価力を習得

ねらい：保健事業は何をもって成功と言えるのか。住民の満足度、データ改善、保健医療従事者の納得度、医療費の安定化……立場、時代、社会状況により健康のキーワードの優先順位は変わる。目標設定を明確にした内容、運営法の工夫が求められる。健康情報の伝達に加え、保健医療従事者に「企画力」「評価力」「人材育成力」「連携力」「広報力」が求められる時代となった。とりわけ、医療費の安定化が叫ばれる今、事業の企画法に知恵が必要である。結果の出る保健事業の企画・評価について総合的に習得する。時代と社会が求める自分づくりの2日間となる。

内容：健康事業企画の基本的考え—まちづくりを目指した保健事業の企画法／参加したくなる心の元気教室の企画法／住民が参加したくなる広報の実践—パンフレット作成法が受診意識を変える／具体的事例検討／他

対象者：保健師、栄養士、担当者および責任者(例：健康保健課長)

定員：30名

受講料：1万8000円

申し込み期限：6月26日(火)

第39回保健活動研修会 —保健活動に生かす疫学・統計セ ミナー(学会発表・論文執筆まで)

研修期間：8月3日(金)～5日(日)

テーマ：近年、保健活動に関する「情報発信」がさまざまな形で住民の健康増進につながっている。保健活動の介入効果を科学的に検証(評価)し、改善点や次の課題等について適切にアウトプット(公表)することは重要である。すなわち、「研究発表」というフォーマルなスタイルで活動内容を広く発信する必要がある。本研修会では、保健活動の具体的な企画立案だけでなく、活動内容の評価や検証の手法、さらには学会発表・論文執筆にいたるまでの一連の過程について学習する。

ねらい：日常の保健活動を発展させていくためには、現状を常に評価し、新たな目標設定と計画の策定が必要である。そのためには保健活動の現場における調査・研究の手腕を身に付け、実際に研究を行い、最終段階として学会発表や論文執筆により世の中からの評価を受けなければならない。本研修会では、まず研究の基礎となる疫学・統計学の基礎を学び、その上で、グループワークを通じて具体的な研究計画の立案にチャレンジする。さらに、実際のデータを用いて、データの処理・集計に必要なパソコンの技術を習得する。最終日には、学会発表や論文執筆、雑誌の編集委員会との対応等についても議論する。

内容：調査研究を遂行するために必要な基礎知識(講義：疫学・統計の基礎、調査研究の実際等)／調査研究を実施するにあたっての現状把握(演習：文献検索や情報収集の手法の習得)／政策の策定過程における研究成果の活用(特別講義)／実際の研究計画の立案(グループワーク)／実際のデータ処理・集計(演習：パソコンを用いた実習)

※「日本公衆衛生学会認定専門能力認定に関する規定」に基づき、認定された研修会です。1時間につき1ポイントが加算されます。

対象者：地域保健、職域保健、学校保健の現場で保健活動を実践する保健師、看護師、栄養士、医師等、今

後保健活動において研究を行う予定がある者

定員：30名

受講料：2万5000円

申し込み期限：7月3日(火)

第16回口腔ケア研修会

—口腔ケアの更なる普及を目指し て。周術期と地域包括医療におけ る口腔ケアの役割

研修期間：9月21日(金)～22日(土)

テーマ：口腔ケアの実践に向けた基礎知識と技能の習得及び周術期と地域包括医療における口腔ケアの多職種連携について

ねらい：口腔ケアのための基礎事項を整理、習得し、技能向上を図る。さらにNSTでの口腔ケア、周術期の口腔ケアや地域包括医療における口腔ケアの実践を習得する。

内容：口腔ケア習得のための口腔疾患の基礎知識について／口腔ケアの基本、システムの構築、口腔ケアの多職種連携について／周術期の口腔ケア、NSTでの口腔ケアの役割／地域包括医療における口腔ケアの役割／口腔ケアの効率的な技術習得／他

対象者：医師、歯科医師、歯科衛生士、看護師、保健師、介護福祉士、栄養士、言語聴覚士等

定員：50名

受講料：1万8000円

申し込み期限：8月21日(火)

(定員に達し次第締め切り)

第11回看護専門研修会

—災害時に保健従事者に求められ る活動と災害に備えた平常時の活動 **研修期間：**10月12日(金)～13日(土)

テーマ：災害時に保健従事者に求められる活動と災害に備えた平常時の活動

ねらい：近年、地震や風水害等の大規模な自然災害が全国各地で発生している。災害時に、保健従事者は住民への支援活動とともに、多面からの多種多様な情報を判断して対応することが求められる。また、災害に備えて日頃から地域住民の防災力

を高める活動とともに、保健従事者の対応力を高めるための研修等の教育的活動も重要である。講義と演習を通して、災害時に求められる保健従事者の役割を考えるとともに、平常時から行うべき活動を理解する。

内容：災害時に保健従事者に求められる活動(講義、演習)/災害に備えた平常時の保健活動(講義、演習)

対象者：保健従事者

定員：20名

受講料：1万8000円

申し込み期限：9月12日(水)

第46回看護師研修会

—認知症患者のアセスメントと看護実践を学ぼう

研修期間：11月23日(金)~24日(土)

テーマ：認知症を理解し、認知症患者の看護実践に必要な専門的知識・技術を習得する。

ねらい：認知症患者を全人的に捉え、入院療養における認知症症状の悪化を予防し、安全かつ円滑に治療・看護が受けられるよう援助するための知識・技術を習得する。

内容：認知症の病態・治療/認知症患者の症状/認知症患者に対する看護技術(コミュニケーション方法・療養環境の調整方法・せん妄の予防と対応法・認知症患者の看護過程)/認知症に特有な倫理的課題と対応/認知症患者の家族看護/高齢者の精神疾患

※平成28年度診療報酬改定「認知症ケア加算2」対応研修

対象者：認知症患者に関わる看護職、認知症ケアに関心がある看護職

定員：40名

受講料：1万8000円

申し込み期限：10月23日(火)

【以下共通】

会場：自治医科大学地域医療情報研修センター(栃木県下野市)

申し込み方法：受講申込書(下記URLから)に記入の上、郵送

申し込み・問い合わせ：地域社会振興財団事務局研修課

〒329-0498 栃木県下野市薬師寺

3311-160

☎ 0285-58-7436

FAX 0285-44-7839

✉ fdc@jichi.ac.jp

URL <http://www.zcssz.or.jp/>

日本難病看護学会 第23回学術集会

日時：7月21日(土)・7月22日(日)

会場：新潟県立看護大学キャンパス(新潟県上越市)

テーマ：新しい難病ケアのしくみの中で実践する共生のまちづくりとともに生き ともに暮らす地域をめざして

プログラム：

[1日目]

教育講演「ライフコースの危機的移行と地域社会の包容力」嶋崎尚子(早稲田大学文学学術院教授)/シンポジウムⅠ「小児慢性特定疾患児の就学支援—保健・医療・福祉・教育の連携」福島華子(長野こども病院看護師長)、横川しのぶ(長野県長野市吉田小学校教諭)、小林由香(小学校2年生のお母さん)/教育セミナー「難病ケア：災害時個別支援計画」西澤正豊(新潟大学医学部名誉教授)/他

[2日目]

シンポジウムⅡ「難病患者と協働する“我が事・丸ごとの地域づくり”」北山真樹(あすか山訪問看護ステーション作業療法士)、石川秀和(富山県中部厚生センター保健師)/シンポジウムⅢ「長期入院難病患者の外出・外泊支援—心地よい暮らしの実現」酒井奏子(新潟県柏崎地域振興局健康福祉部地域保健課課長代理)、川口有美子(NPO法人さくら理事長)、照井直樹(厚生労働省)/他

参加費：非会員8000円、会員7000円(当日：非会員9000円、会員8000円)

事前参加申し込み・入金期限：5月31日(木)

詳しくは、日本難病看護学会第23

回学術集会 web ページ参照

URL <http://square.umin.ac.jp/intrac/convention.htm>

日本看護協会

平成30年度教育計画

「地域力強化のための地域支援事業の創り方」研修

日時：8月9日(木)・10日(金)

会場：日本看護協会神戸研修センター(神戸市中央区)

目的：地域の健康課題を分析し、PDCAに沿って、多様な事業の企画・実施・評価する力量形成に向け、座学・先進事例の共有、演習等を通して学ぶ

内容：市町村における地域支援事業と保健師の役割/データの分析とアセスメントの方法/ポピュレーションアプローチの展開/演習

申し込み期間：5月1日(火)~16日(水)

対象：市町村における介護予防・地域支援事業担当部署の保健師、または地域包括支援センターで働く保健師または看護師

受講料：会員1万5444円、非会員2万3112円(税込)

募集定員：30名(定員となり次第締切)

申し込み方法：下記URL(生涯学習支援>研修>研修を探す)から、もしくは申込書を印刷、記入の上郵送
問い合わせ：日本看護協会神戸研修センター総務管理部

☎ 078-230-3250(申し込みについて) 日本看護協会健康政策部保健師課

☎ 03-5778-8844(研修内容について)

URL <http://www.nurse.or.jp/>

日本フォレンジック看護学会 第5回学術集会

テーマ：現代社会におけるフォレンジック看護の役割—犯罪被害と加害への対応から

日時：9月1日(土)~2日(日)

会場：新潟日報メディアシップ(新

潟市中央区)

内容：大会長講演「受刑者の看護からみた被害・加害・社会」舩山健二(前・新潟刑務所法務技官看護師)／基調講演「フォレンジック看護を創造する」佐藤紀子(東京慈恵会医科大学看護学科特任教授)／特別講演「フォレンジック看護への期待—加害者臨床の立場から」信田さよ子(原宿カウンセリングセンター所長)／教育講演「高齢犯罪者の権利保障と社会復帰」安田恵美(國學院大學法学部准教授)／他

参加費：

会員 8000 円，非会員 9000 円，学生 4000 円(当日：会員 1 万円，非会員 1 万 1000 円，学生 5000 円，懇親会費 6000 円)

事前参加申し込み期限：8 月 10 日(金)

申し込み方法：下記 URL からオンライン登録

演題募集(示説発表)募集期限：5 月 31 日(木)

問い合わせ：茨城県立医療大学保健医療学部看護学科内学会事務局
〒300-0394 茨城県稲敷郡阿見町阿見 4669-2

☎ 029-840-2181

✉ info@jafn.jp

🌐 <http://jafn.jp/>

本欄へ掲載を希望する学会・研究会・講習会などのお知らせがありましたら，本誌編集室までお送りください。

〒113-8719

東京都文京区本郷 1-28-23

FAX 03-5804-0485

✉ hokenshi@igaku-shoin.co.jp